

講義、実習の概要

講座名	第3種放射線取扱主任者講習
題目	放射線の量の測定及びその実務 □講義 ■実習
所要時間	3.0時間
実施場所	原子炉特別研究室 □講義室 ■非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	各種放射線測定器（サーベイメータ）を使用して放射線測定に関する技術を習得する。
概要	(1) ガンマ線の線量当量の測定では、ガンマ線源 (^{137}Cs) を使用して①線源からの距離と放射線の強さ、②遮へい材の厚さと放射線の強さ、③積算線量の測定を実施して外部被ばく防護の三原則を理解する。 (2) 中性子線の線量当量の測定では、中性子線源 (^{252}Cf) を使用して遮へい材の違いによる線量当量率の変化を理解する。（出張講習では省略。） (3) 表面汚染密度の測定では、ベータ線源 (^{90}Sr) を使用して汚染場所の特定と計数率を読み取り表面汚染密度の算出方法を理解する。
キーワード	サーベイメータ、1cm線量当量率、表面汚染密度
使用するRI、危険物、重量物等	ガンマ線源 (^{137}Cs)、ベータ線源 (^{90}Sr)、中性子線源 (^{252}Cf)